

第5回 柏崎市新庁舎建設検討委員会 議事要旨

1 日 時 平成27年11月11日(水) 午後6時30分から午後8時30分

2 場 所 柏崎市役所本館4階 大会議室

3 出席者

(1) 委員(五十音順)

大塚委員、西川委員、白川委員、須田委員、長委員、中出委員、新田委員、山崎委員、
吉田委員、山田委員(欠席:平野委員、柳委員)

(2) 事務局

総合企画部長、新庁舎整備室長、総務課長、建築住宅課長、事務局職員2名、
(株)アルメックVPI 2名

4 議事要旨

(1) 委員長あいさつ

本日の資料である基本計画の案をパブリックコメントにかけ、本日の委員会の意見と、議会からの意見、パブリックコメント・市民説明会の意見の全てを踏まえ、次回成案としてまとめていきたい。本日が、実質最後の議論となるので、忌憚のない意見をいただきたい。

(2) 報告事項

1) 新庁舎建設に係る柏崎市議会の動き

事務局より、参考資料をもとに、前回報告した以降の議会の動きについて説明。10月9日に議会機能について特別委員会で検討し、その結果を取りまとめたものが10月20日に市長に要望として挙げられた事及び、10月19日には議会機能以外のその他の機能について特別委員会で検討された事について報告し、詳細は、配布した議事録を確認いただく事とした。

《質疑》

委員長:議会からの意見にある喫煙室については、庁舎全体を喫煙にするのか、市側の判断となる。新庁舎における禁煙の考え方を整理する必要がある。

委員:現在、学校は敷地内禁煙としている。市役所庁舎は、来庁者の喫煙ニーズもある事から庁舎内禁煙とし、敷地内(屋外)に喫煙スペースを設け、対応をしている。一方で、元気支援課では、喫煙の害について市民に周知している事もあり、市当局としての方針を整理していく必要があるのではないかと。

事務局:基本は、現在と同じ庁舎内禁煙で考えている。

(3) 検討事項

1) 第5回柏崎市新庁舎建設検討委員会検討資料について

委員:年間の議場の稼働率と議会の傍聴者の数はどのようになっているか。

事務局:現在、通年議会ではあるが、定例会議が年4回あり、2月定例会議が7日から8日議場を使用している他は、1回の定例会議で5日程度の使用となっている。また、随時会議は2か月に1回程度開催しており、本会議場を利用した全員協議会も時々開催している。

傍聴については、波はあるが、一般質問の際には、満席となることもあり、議会改革で市民に開かれた議会を、と活動している影響もあり、昔と比較すると傍聴者の数は増加傾向にある。

稼働率の問題はあるが、何かあった際に、議会が開催できる状態にしておく必要がある、という事での議会からの要望だと受け止めている。

委員長：ピーク時に合わせるのではなく、通常は8割充足で想定する。議会への関心が高く、傍聴者の数が増加傾向にあるのであれば、傍聴席は使いやすく、かつ一定数の傍聴席の確保についても考えておく必要がある。

委員：低層階に議場を配置するという議会の意見は、市民も入りやすく、バリアフリーの観点からも良いと思う。低階層に議場を配置するのであれば、フラット化すると良いと思う。

バリアフリーとユニバーサルデザインの考え方は、若干の相違があると考えるので、傍聴席等のバリアフリー化にも重点を置いて欲しい。

委員長：ユニバーサルデザインは、バリアフリーの考え方も包含しているものである。

新庁舎は、新潟県の福祉のまちづくり条例の特定建築物に該当し、バリアフリー法の対象にもなる為、対応をしていかなければならない。トイレも多機能トイレにしなければならぬ等、今まで以上に多様なスペースが必要となってくる。

委員長：職員用駐車場については、フォンジェの駐車場の170台は既存のまま使用し、トータルで370台分の駐車スペースを維持し、アルフォーレとの共用も考慮に入れた上で、3・4・5街区のどこかに配置するという考えでよろしいか。

事務局：駅に近接した場所となる事から、公共交通機関の利用も期待しているが、必要台数分は確保したいと考えている。

2) 柏崎市新庁舎建設基本計画（案）について

委員：本編と資料編に関連性があるのであれば、本編に資料編のどこに記載があるかを表記した方が良い。

事務局：見やすいように工夫したい。

委員：1 ページ目のはじめにの部分重要である。2020年までに完成させなければならぬ理由について、後述されてはいるが、市民から疑問が寄せられる部分なので、はじめにも記載した方が、説得力がある。併せて、日石町に建設する理由についても、市民の関心があるところである為、メリットや適地と判断した理由もはじめの中で、説明した方が良いと思う。

委員長：2020年までに完成させるという理由については、事業スケジュールと合併特例債の活用の箇所でも記載はあるが、冒頭に記載しても良いのではないか。

委員：少しコンパクトに簡潔にしすぎているのではないか。場所と時期について、冒頭に記載する事については、相談の上検討してはどうか。

委員長：市民に分かるように、はじめにの部分は修正して欲しい。

委員：資料編もパブリックコメントに出すのか。アンケート結果のグラフのN表示や単位の記載が落ちている為、再度単位等は精査した方が良い。

委員長：単位等は、再度精査をお願いしたい。本編と資料編を一つにまとめるとなると、資

料編についてはページの表記を工夫する必要がある。資料編については、「資-1」としてはどうか。

事務局：記述内容を精査し、修正対応したい。

委員：概要版をつくるのか。

事務局：成案した後、概要版を作成して、市民への広報に活用していく予定である。

委員：7 ページに日石町3・4街区という記載が出てくるが、場所の説明がないので、はじめにの中に、図で表記した方が良いのではないかと。

委員長：はじめにの中に、アルフォーレとの位置関係もわかる図を入れておけば、最初から読みやすいと思う。検討をお願いしたい。

委員：機能の内容に目指すべき姿を記述したのは良いが、窓口機能と相談機能だけ、現状についての表現が入っている。他との統一性を考えて、今後こうしたいという表現に変更した方が良いのではないかと。

事務局：記述を統一したい。

委員長：本編と資料編が上手く連動されていると、本編で延べたい事がストレートに表現されており、基本計画（案）としてはスマートで良いと思う。一方で、上手く連動ができていないと、読んだ人に分かりにくい面もあるので、もう少し工夫した方が良い。

委員：報告事項の議会の動きに関する資料を見ると、意外と反対している人がいるのだと感じた。

委員：13 ページに、市民サービスに関わる機能に関する図が今回新たに加わったが、7 ページにも市民サービスに関わる機能を中心とした各機能の相関図があり、その図だけでも意図している事は理解できる。新たに13 ページに図を追加した意図は何か。

委員長：事務局の意図は、ふれあい交流機能と利便向上機能、情報次発信機能が各々重なりあい、連携しあう部分があるという点を表現したかったのだと思う。ただし、連携も考慮すると文中でも表現しているので、パブリックコメントの後で良いので、委員会からの意見の1つとして、13 ページの図を削るかは検討をお願いしたい。

事務局：13 ページの図を削除して、7 ページの図を参照と記載することでも表現できるのではないかとと思うので、検討したい。

委員：懸念していた事項についても、対応しており、資料提供の手法については、もう少し工夫がいるとは思いますが、基本計画としては良くできていると思う。

委員：駐車場については、アルフォーレと職員用と来庁者用について記載があるが、各々を明確に分離させた上で、相互に活用するするのか、一体として確保し、利用させるのかによっても違ってくる。一体として確保するとなると、アルフォーレのイベント時に駐車場が満車となり、職員が駐車できないというのは、執務に支障が出て困るのではないかと。また、利便性がよくなれば、駅利用者の利用も想定されるので、来庁者や職員が不便を感じないような手法を検討して欲しい。

高齢社会への対応も考慮して、1台分の駐車スペースを広くして欲しい。

委員：まずは、来庁者を一番に考えるべきではないか。その上で、職員用駐車場については、駅に近接する事から、今まで以上に公共交通機関を使うよう指示していくべきではないかと考える。駐車場は、各々の施設で確保すべきであり、アルフォーレで

大きなイベントが開催される際には、職員にその日は利用しないようにする等、管理をし、両方の施設が有効に使用できるように考えていくべきではないか。

委員：市役所の駐車場に、観光バスが来た場合には、受け入れは拒否できないはずである。また、アルフォーレでイベントが開催された場合を考慮すると、各々の施設で駐車場を確保する必要があると思う。面積が広く使用できるからと言って、流動的な利用は難しいと思う。

事務局：職員の駐車場については、フレキシブルに対応できる部分はそのようにしたいと考えるが、雇用主の立場から言えば、通勤手段の確保も必要であると考えている。周辺でどれだけ駐車場として面積を取れるのかにもよるが、まずは来客用について整備し、それから職員用という形で検討していきたい。

委員長：駅に近接する事から、駅利用者の駐車場利用は想定される。市役所来庁者用やアルフォーレ利用者用と駐車場の看板に明記する事や、ソフト面での仕組みを考える事が必要となってくる。夜間・休日はチェーンで締めておくという対応も考えられるが、そのようにした場合、休日には、相互の有効活用が出来なくなる。来庁者とアルフォーレ利用者は、各々専用駐車場として整備すべきであるが、相互に連携させた柔軟な対応ができるよう、ハード・ソフト・ハート面（マナー）での整備が必要となる。

仕様書にその点を記載する事で、優秀な設計者は対応してくれるのではないかと思うが、もう少し詳細まで決めておいた方が良い。

事務局：駐車場の管理の手法や、マナー等についても検討したい。

委員：アルフォーレで開催された農業まつりの際に、駐車場の混雑を想定してコモタウンの駐車場を利用し、日石跨線橋を渡って、アルフォーレを利用している姿が見受けられた。新庁舎を日石町に建設した場合には、コモタウンも含めた駅裏への影響も想定されるので、中心市街地の活性化を検討していく上では、新庁舎周辺に限らず、駅裏や本町通りまで含めて検討していく必要がある。

委員長：29 ページ以降に中心的市街地の方向性として、まちなかの回遊性等については記載してある。なお、最後にまとめとして、中心的市街地の活性化については、次年度以降引き続き検討していくとあるが、今の委員の意見を踏まえて、中心的市街地の考え方を検討して欲しい。

委員：思いやり駐車場は、雨風のことを考えて、玄関付近に整備し、屋根付にすると良いと思う。そうすれば、思いやり駐車場と明確にわかり、マナーの向上にもつながるのではないか。

委員長：高速道路のサービスエリアを見ると、屋根付の障がい者用駐車スペースに平気で駐車している姿が見受けられるので、屋根付にただけでは、マナーの向上を期待することは難しいのではないかと思う。しかし、障がい者の事を考慮すれば、庁舎のより近い所に数台分思いやり駐車場を整備し、屋根を付けるべきであると思う。車椅子対応を考えると、スロープよりも段差がない方が良いが、雨仕舞が大変である。

委員：柏崎市は、思いやり駐車場の利用については、マナーは良い方だと思っている。また、ベーカリーやミニランチを提供するような障がい者の施設・NPOが、市内には数か所あるので、できれば、新庁舎の休憩コーナー等で、そういった障がい者

の活用についても検討して欲しい。

委員長：多目的なスペースとしてだけではなく、そのようなゆとりスペースがどの程度作ることができるかを検討する材料として、事務局に最低限執務スペースとして必要とされる面積を整理してもらった。この面積をもとに、仕様書を考える際には、庁舎に入れて欲しい機能について考えることとなるが、その際には、障がい者の活用についてもぜひ検討して欲しい。

委員：現庁舎の売店の運営に携わっている知人から、新庁舎では、売店が廃止されそうな為、委員会で発言して欲しい旨依頼があった。事務局に要望書も提出されていると思うが、障がい者の活用と同じくくりで、検討の項目として残してもらえないか。

委員長：既得権を確保できるかどうかは確約できないが、食堂は入れないが、新庁舎において、形態は決まっていないが、何かを売るスペースは入る予定で考えている。一定のスペースを確保し、具体的に何を入れるのかは後で決める事となる。

委員：これまでの委員会で検討した意見をもとに、今日の委員会の意見も踏まえて基本計画書をつくっていくので良いのではないか。

委員長：基本は、本日の資料として配布した計画案をもとに、パブリックコメントにかけ、市民説明会等による市民からの意見や、議会の意見を取りまとめ、今回の委員会の意見と、参考資料として配布した委員から提案していただいた意見を踏まえ、最終案を作成していくこととなる。

次回は、議会や市民、各々から提出された意見に対して、反映させた意見の経緯の説明や修正部分についての説明が中心となり、最終的には、計画案を承認いただくこととなる。気づいた点や提案事項等あれば、パブリックコメント開始前までに事務局へ伝えて欲しい。

5. 次回開催について

今後の予定は、11月下旬から12月上旬に柏崎市議会へ基本計画（案）の報告、12月5日から1月11日まで、パブリックコメントを実施し、その間の12月26日には市民説明会の実施を予定。

第6回：1月19日(火) 18:30～

以上